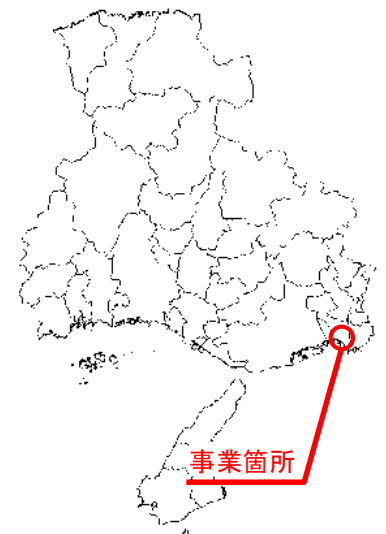
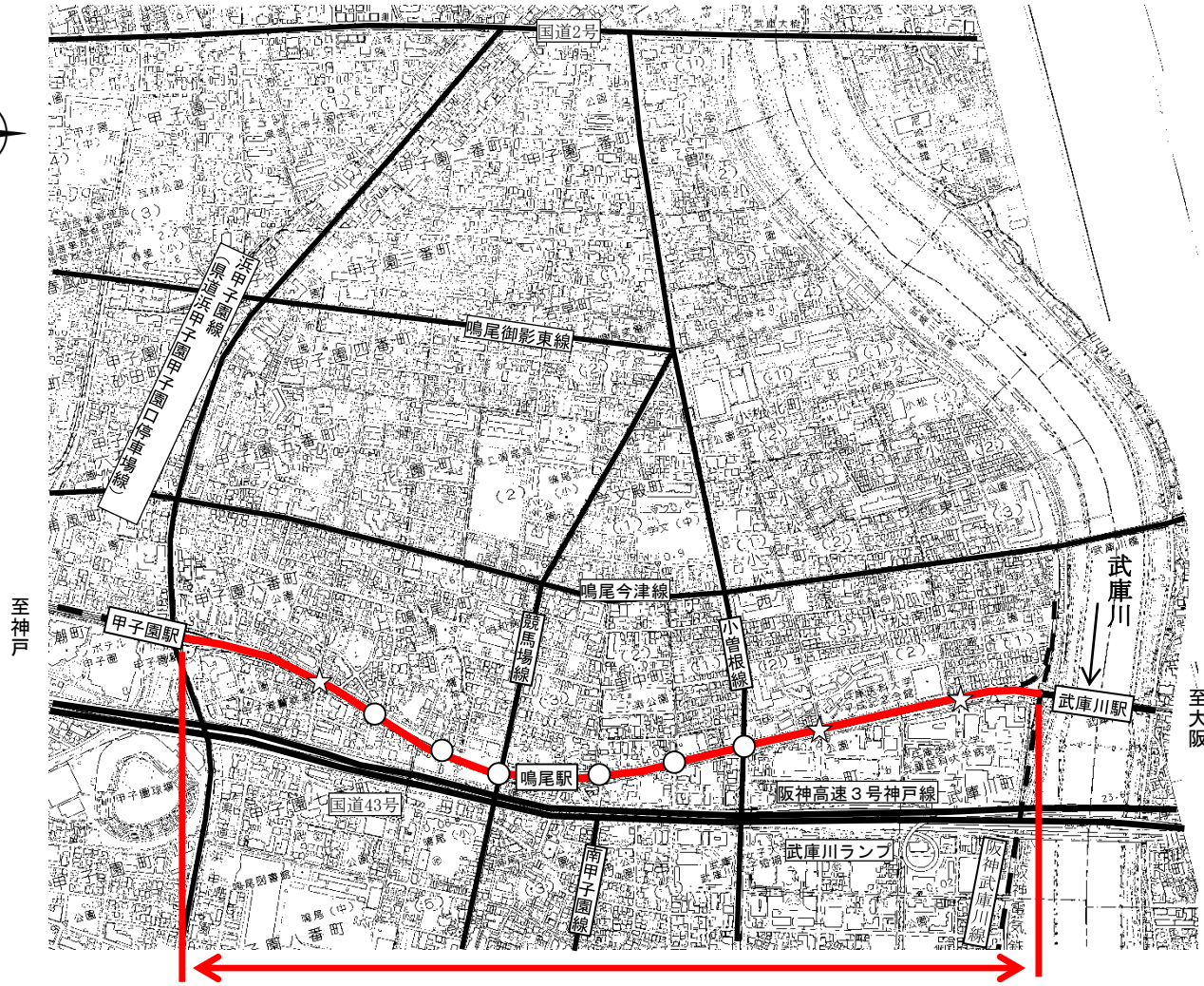


事業概要

応募No.	11		
事業主体	兵庫県	事業箇所	兵庫県西宮市浦風町～小松南町1丁目
応募者名	兵庫県土木部道路街路課		
ふりがな 事業名称	はんしんでんてつほんせんなるおえきふきんれんぞくりったいこうさじぎょう 阪神電鉄本線鳴尾駅付近連続立体交差事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、兵庫県西宮市内の阪神電鉄本線鳴尾駅付近において、道路と鉄道との立体交差化を行うことで、平面交差により阻害されていた当地域の安全で円滑な交通を確保するとともに、沿線の生活環境の向上や都市機能の回復を図るため、兵庫県が事業主体となり、平成12年度から平成30年度までの事業期間と約297億円の事業費をかけて実施したものである。</p> <p>この事業では、阪神電気鉄道本線の鳴尾駅を含む、甲子園駅から武庫川駅までの区間約1.87kmの鉄道高架化による6箇所の踏切除却及び、鉄道の関連側道5路線と交差道路9路線の整備を実施した。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約1.9km	
	幅員(m)	-	
	事業期間(和暦)	平成12年～平成30年	
	事業費(億円)	約297億円	
受賞歴	<input checked="" type="radio"/> 有・無		
URL	https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks10/documents/0521naruorenritsu.pdf		

事業位置図

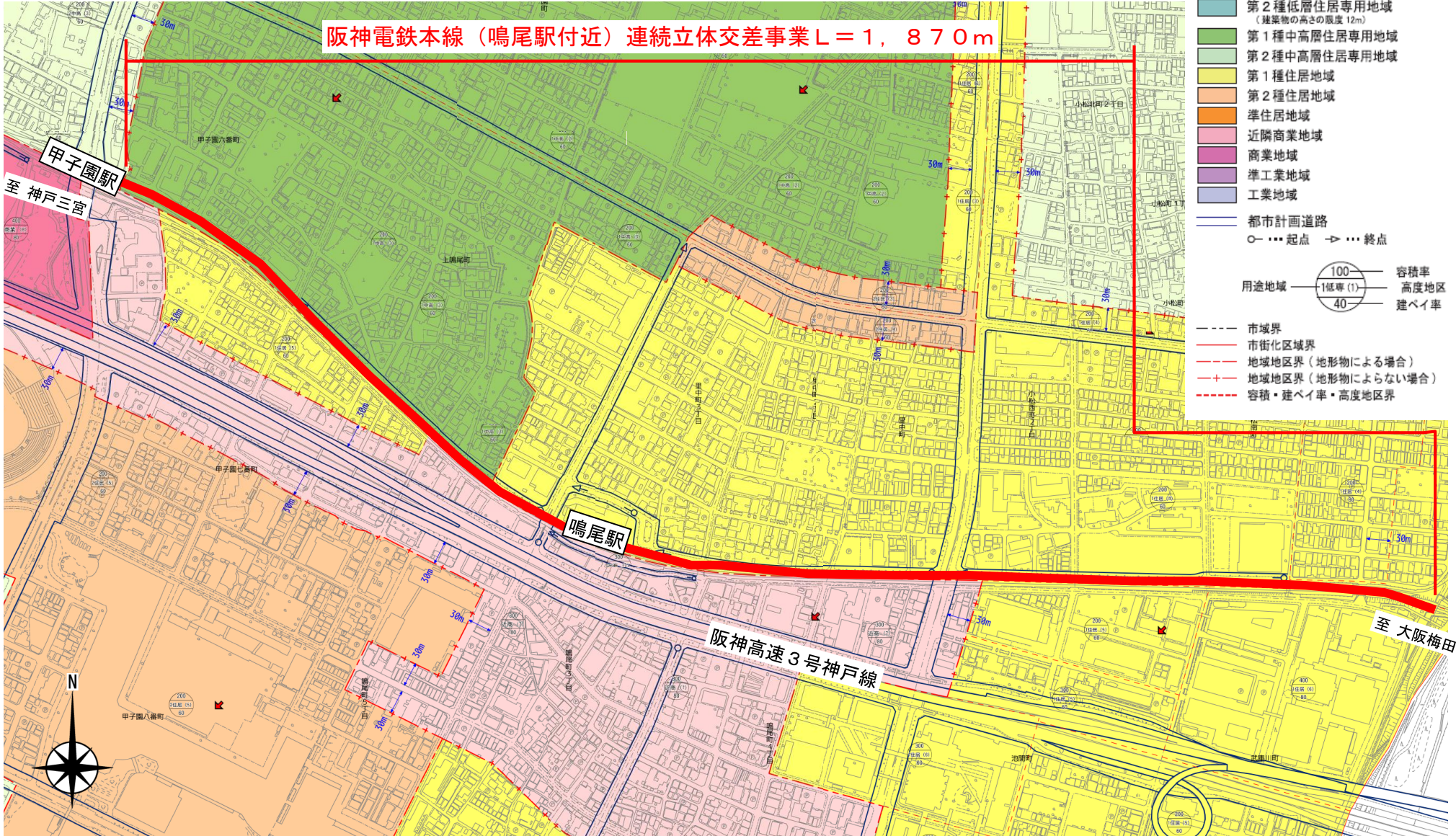


凡例	
	事業区間
	主な道路
	除却踏切
	新設交差道路

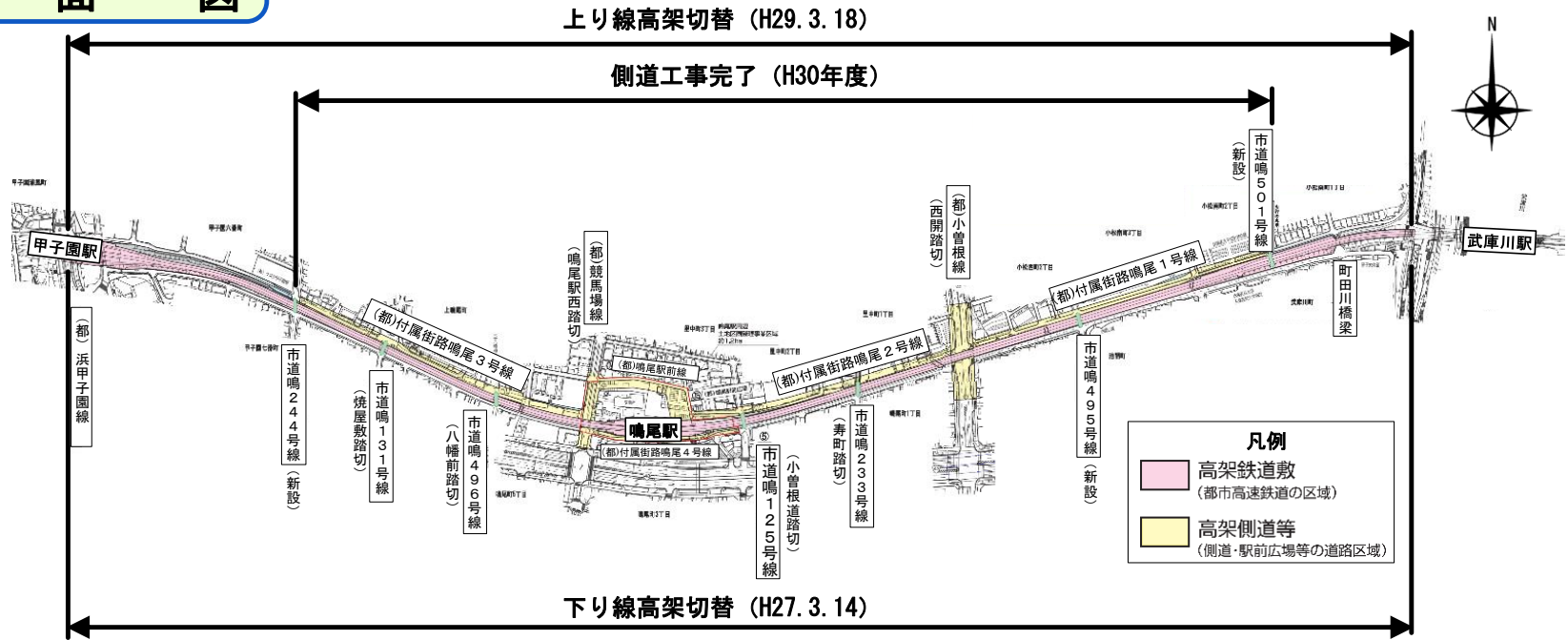
阪神電鉄本線（鳴尾駅付近）連続立体交差事業 L = 1, 870 m

都市計画図(用途地域図)

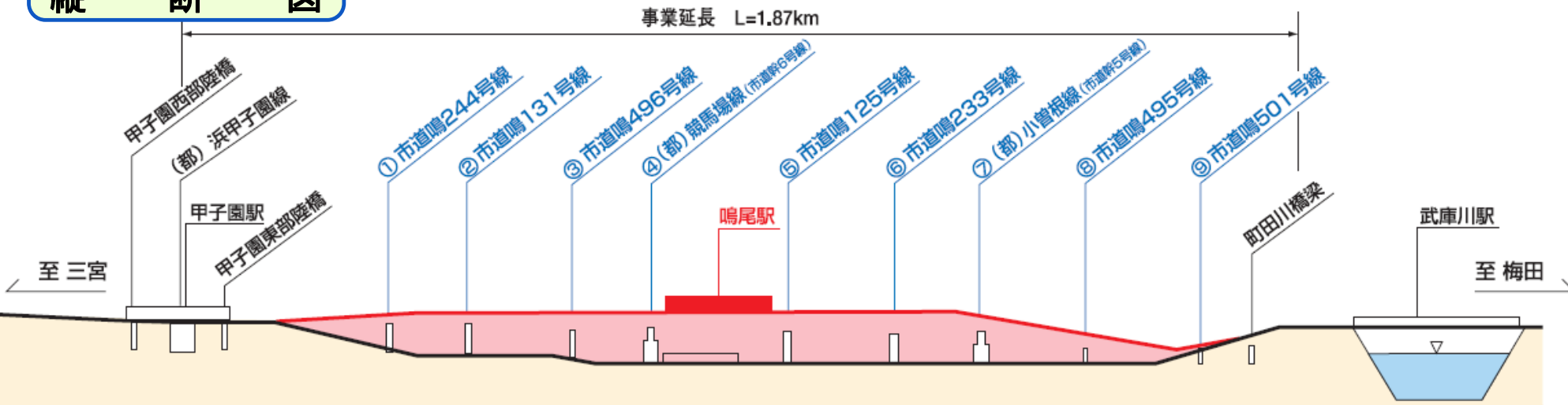
阪神電鉄本線（鳴尾駅付近）連続立体交差事業 L = 1, 870m



平面図

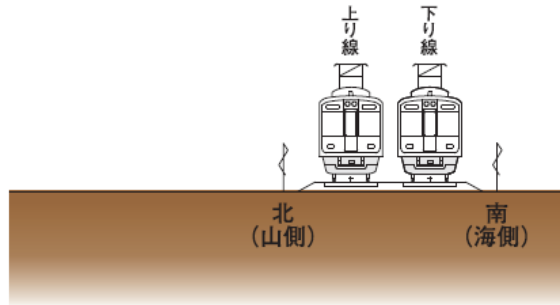


縦断図



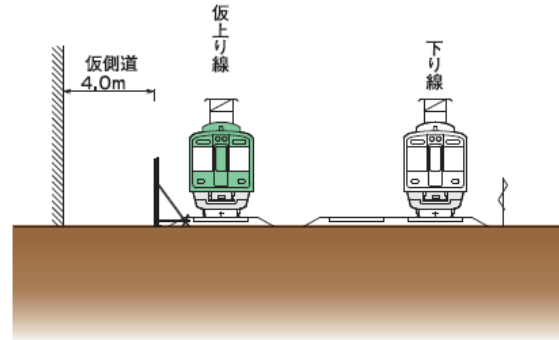
横断図

1 工事着手前



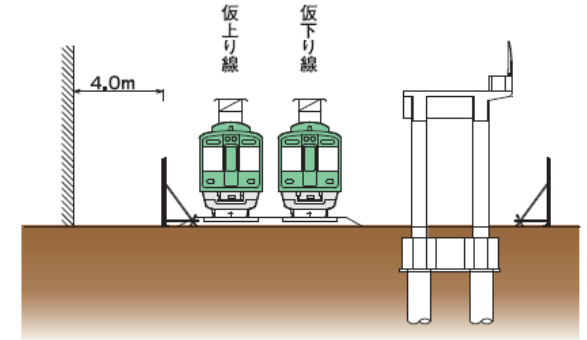
H21年5月 仮側道の整備完了

2 上り線を仮線へ切替える



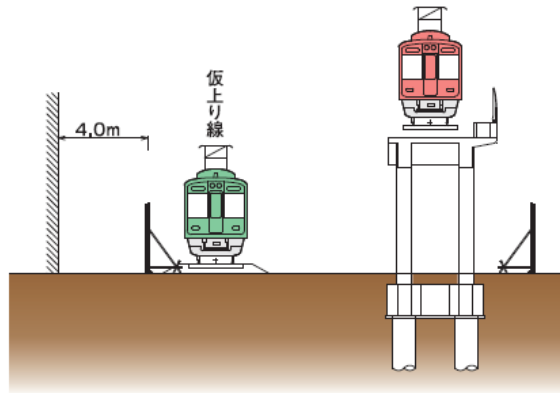
H23年7月 仮上り線切替

3 下り線を仮線へ切替え、計画下り線の高架構造物を構築する



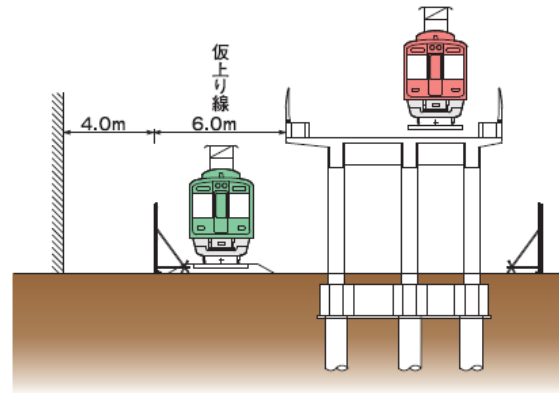
H24年10月 仮下り線切替

4 仮下り線を計画下り線へ切替える

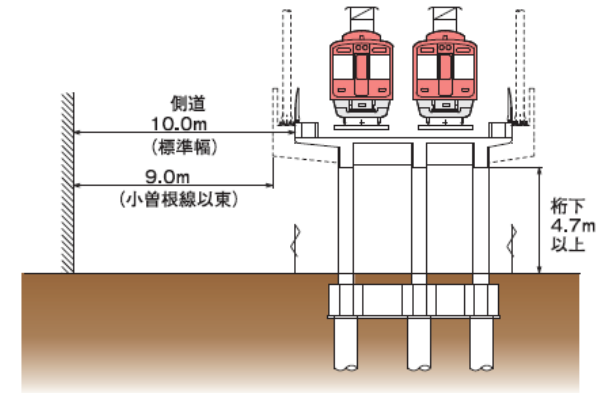


H27年3月 下り線高架切替

5 計画上り線の高架構造物を構築する



6 仮上り線を計画上り線へ切替え、側道を整備する



H29年3月 上り線高架切替
H30年度 側道・交差道路工事了(事業完了)

事業前写真

鳴尾駅



小曾根線
(西開踏切)



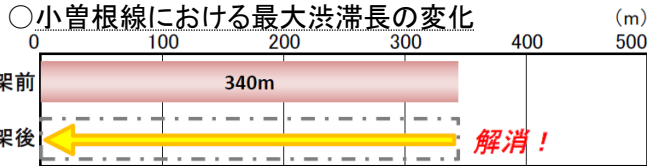
市道鳴496号線
(八幡前踏切)



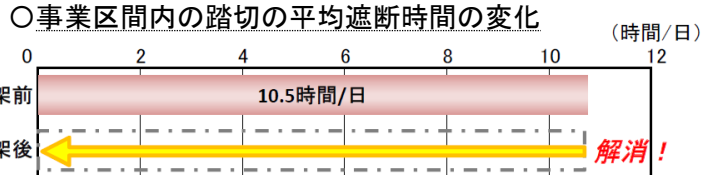
事業後写真



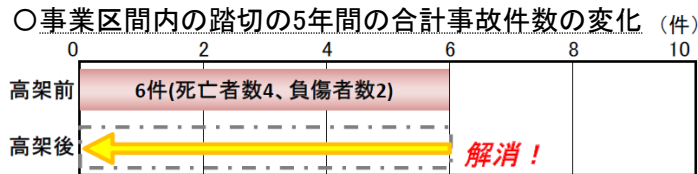
①交通渋滞の解消



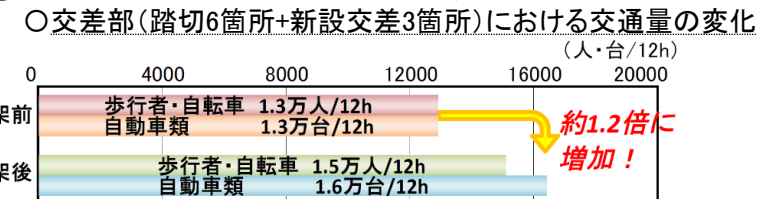
②踏切遮断の解消



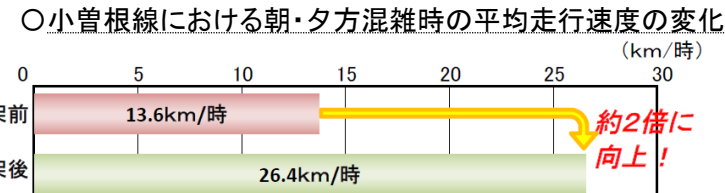
③踏切事故の解消



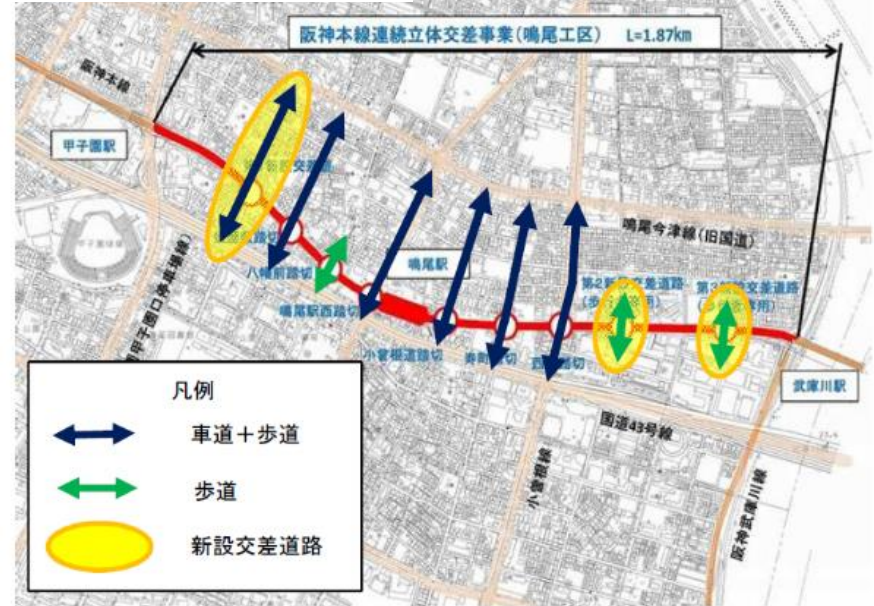
④交差部における交通需要の発現



⑤自動車の平均走行速度の向上



⑥南北の市街地を一体化



⑦徒歩5分圏の拡大



⑧地元大学と連携した「地域と共生するまちづくり」

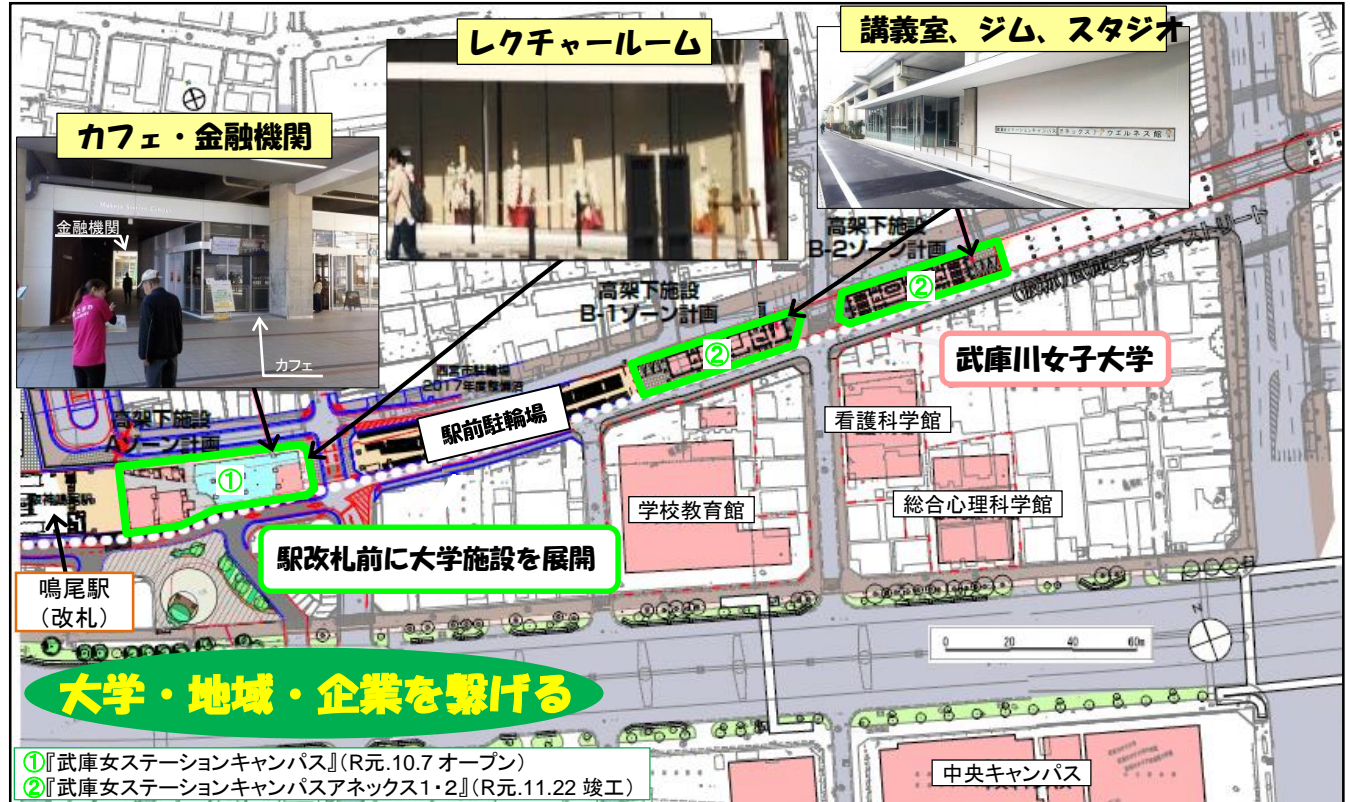
- 近隣の武庫川女子大学の学生と協働で駅舎デザイン案を作成
- 同大学と阪神電気鉄道(株)が包括連携協定を締結し、高架下空間に“日本初”の本格的な大学施設が進出
- 地域住民や学生への学び場を提供すると共に、健康維持・増進ゾーンの整備などを通じ、多くの人々が集まる新たな活動拠点づくりの推進

駅舎デザインの作成



高架下利用

武庫女ステーションキャンパスを新たに設置



苦労や工夫等アピール資料

①連絡協議会の設置

本事業の推進には地域住民の理解と協力が不可欠であった。そこで、地元代表及び事業者相互の緊密な連絡調整により事業の円滑な推進を目的として連絡協議会を設立した。

＜構成員＞

地元自治会、兵庫県、西宮市、阪神電気鉄道(株)

連絡協議会の様子



②万能堀ペインティング

平成22年度下半期に、地元の武庫川女子大学学生・教員、里中町自治会員との連携により、仮上り線北側の万能堀（仮設防護堀）に約100m（高さ約3m）にわたるペインティングを行い、長期に渡る事業のイメージアップを図った。「地元にゆかりのあるテーマ」を題材とし、「未来へ明るく向かうことをイメージした」という色とりどりの線路を中心に、地元の夏祭りや運動会、航海の目印になっていたと言われる「鳴尾の一本松」などが描かれた。この万能堀ペインティングは、万能堀が撤去されるまでの約6年間現地で展示された。

ペインティング製作状況



万能堀ペインティング
完成記念式典



苦勞や工夫等アピール資料

③高架切替イベント

高架切替を記念して、地元を中心に市民に向けた次のイベントを行った。

- ・ レールウォーク
- ・ 旧鳴尾駅舎への感謝落書き
- ・ 子供駅長になって撮影会
- ・ 鉄道玩具の展示
- ・ 連立事業に関するパネル展示

レールウォークでは、先着1,000人の予定で当日午前10時より整理券を配布予定だったが、予想を大きく上回る参加希望者の来場により、予定を早めて整理券を配布した。最終的には先着約1,200人の鉄道ファンや親子連れなどが、鳴尾駅から出発し、使われなくなった仮上り線敷き約350mを歩きながら、鉄道高架事業やまちづくりへの理解や関心を深めた。

レールウォークの様子



旧鳴尾駅舎への感謝落書き



パネル展示



受賞歴・報道資料

令和3年度 全建賞受賞

